

評価細目の第三者評価結果

1 共通項目

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

Ⅰ-1 理念・基本方針

Ⅰ-1-(1) 理念、基本方針が確立されている。		第三者評価結果
	Ⅰ-1-(1)-① 理念が明文化されている。	Ⓐ・B・C
	Ⅰ-1-(1)-② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 理念・基本方針は、新保育所保育指針に基づき、市担当課や市内園長会にて話し合いがなされ、園の実態を反映させて分かりやすく明文化されている。子ども一人ひとりの個性に合わせて、豊かな人間性をもった子どもに育てていきたいという姿勢や、地域の子育ての拠点となる保育園を目指すという姿勢が見て取れた。</p>		
改善できる点／改善方法：		
Ⅰ-1-(2) 理念、基本方針が周知されている。		
	Ⅰ-1-(2)-① 理念や基本方針が職員に周知されている。	Ⓐ・B・C
	Ⅰ-1-(2)-② 理念に基本方針が利用者等に周知されている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 理念・基本方針について、誰でも目に触れることができるよう各クラス、職員室、通路や玄関等各所に分かりやすく掲示している。職員には会議や自己評価等を通じて意識付けを図り、また、保護者や地域住民には、各種便り等配布物やホームページを通じて周知を行い、保護者アンケートの実施を通じて、周知確認を図っている。さらに入園時や保育参観時において、具体的に実践例を示して説明している。職員や保護者への周知が徹底されていると感じた。</p>		
改善できる点／改善方法：		

I-2 計画の策定

I-2- (1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		第三者評価結果
	I-2- (1) -① 中・長期計画が策定されている。	Ⓐ・B・C
	I-2- (1) -② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 「みずなみ子育て応援プラン」を踏まえ、園長の意見も取り入れて園の実態を反映させた事業計画が市担当課で検討され、策定されている。目標や課題を明確にされている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
I-2- (2) 計画が適切に策定されている。		
	I-2- (2) -① 計画の策定が組織的に行われている。	Ⓐ・B・C
	I-2- (2) -② 計画が職員や利用者に周知されている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 計画の策定は、職員会での意見を汲み上げて園の実態を市担当課に報告し、26年度までの幼保一体化に向けての課題や23年度の施設大規模改修の課題等について策定が行われている。また、一体化に先駆け、園として教育保育課程の計画に基づき保育活動を実践している。教育長、部長、秘書課長等の訪問も実施されており、園の実態を視察していただき、策定に生かす等積極的な取り組みも行われている。また、計画内容の意味を熟知し、咀嚼し会議を通して職員に報告している。間接的ではあるが、計画への職員参画が期待できるものと思われた。付け加えれば、今後、保護者への計画の周知徹底が望まれる。保護者が計画への関心を高めることは保育園をより身近に感じてもらえるようになるのではと考える。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

I-3 管理者の責任とリーダーシップ

I-3- (1) 管理者の責任が明確にされている。		第三者評価結果
	I-3- (1) -① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	Ⓐ・B・C
	I-3- (1) -② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	A・Ⓑ・C
<p>良い点／工夫されている点： 役割・権限・責任について職員会で検討し文書化している。管理者の役割と責任については、職員会にて表明し周知している。また、当該職位のPDCAの流れを意識し、自己評価や職員からの意見収集及び評価や利用者アンケートや意見の汲み上げ等のプロセスを経て検証を行っている。今後、保護者への園長の役割表明が園だよ</p>		

り等でどう遂行できるか広報誌活用のあり方について検討されたい。園長は管理職として必要な法令遵守の研修会に参加し、職員周知を図っている。また、関係法令を洗い出し、文書一覧としてある。	
改善できる点／改善方法： 日常の保育実践の中での法令遵守の意識付けをするような園内研修までは実施されていない。そこで、関係法令一覧の作成から今一歩踏み出し、職員への周知該当項目をコピーして職員用として綴り、園内研修等を通じて法令遵守のより周知徹底に努められたい。	
I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	
I-3-(2)-① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	Ⓐ・B・C
I-3-(2)-② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	Ⓐ・B・C
良い点／工夫されている点： 園長は常に現場を巡視し、子どもや職員のそばで現状把握に努めている。また、PDCAの観点から計画内容を職員とともに検討し、職員会、カリキュラム検討会、年齢別話し合い、ケース検討会等で定期的かつ継続的に評価・分析を行なっている。また、保護者の声を現場に生かし、保育サービスの質の向上に努めている。 経営管理（人事、労務、財務等全般）は市の管理下であるが、園長は、職員の就業モチベーションを維持できるような職場環境に配慮している。また、業務の効率化への意識を持ち、現状分析に努め、課題を明確に把握している。市の担当職の訪問機会を捉え、検討課題を報告し、改善につなげている。人事における財政上の厳しい課題があるが、責任の分担化を行い、職員への負荷を軽くするよう努めている。	
改善できる点／改善方法：	

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 経営状況の把握

Ⅱ-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	第三者評価結果
Ⅱ-1-(1)-① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	Ⓐ・B・C
Ⅱ-1-(1)-② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	Ⓐ・B・C
Ⅱ-1-(1)-③ 外部監査が実施されている。	Ⓐ・B・C
良い点／工夫されている点： 福祉動向についての情報は、公立なので比較的得やすい立場であるが、行政任せにするのではなく、園長会や情報誌等からも情報収集を行っている。地域のニーズについては、保護者アンケート、園に設置したメッセージ	

<p>ボックスや保護者からの日常的な意見聴取を通して把握している。また、子育て支援センターや児童館との連携ができており、ニーズ把握の一助になっている。さらに望むとすれば、ニーズ開発の視点に立ち地域の子育て支援に対するサービスの開発・拡充がなされることを期待したい。経営管理は市が行っているが、経営状況は市担当課との連携の中で把握し、職員会において改善課題の職員周知に努めている。</p>
<p>改善できる点／改善方法：</p>

Ⅱ－２ 人材の確保・養成

Ⅱ－２－（１） 人事管理の体制が整備されている。		第三者評価結果
	Ⅱ－２－（１）－① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅱ－２－（１）－② 人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>人事は市の管理であるが、職員採用試験では現場の園長が面接を担当する体制になっている。財政上、人材確保の厳しさが増す中でも、現場の職員の和を重視しつつ職員個々の状況に応じた人材育成に努めている。また、人事考課については、目標管理制度を実施し、職員との面接の中で意見聴取を行いながら、能力評価・業務評価のフィードバックを行い、職員への能力開発や資質向上を図っている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
Ⅱ－２－（２） 職員の就業状況に配慮がなされている。		
	Ⅱ－２－（２）－① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅱ－２－（２）－② 福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>有給休暇、時間外勤務の状況把握についてはデータ化し管理体制ができています。職員の健康管理についてはオリジナルの管理一覧表を作成し、職員一人ひとりの健康について常に確認する等健康管理に努めている。また、必要に応じて市委託の専門家のカウンセリングが受けられるよう職員のメンタルヘルスについて配慮している。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
Ⅱ－２－（３） 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		

II-2-(3)-① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	Ⓐ・B・C
II-2-(3)-② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	Ⓐ・B・C
II-2-(3)-③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 全職員の年間研修計画を作成し、目標管理と関連付けながら研修を実施している。園オリジナルの外部研修一覧表は、各種外部研修を月別に整理し一覧性を持たせ、万遍なく平等な研修受講を可能にする取り組みとして評価したい。また、復命研修のみでなく、研修を生かした保育の実践を求め、保育記録にして効果検証を行い、次の計画に反映させている。</p>	
改善できる点／改善方法：	
II-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。	第三者評価結果
II-2-(4)-① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	Ⓐ・B・C
II-2-(4)-② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 実習生を多く受け入れており、受け入れに対する基本的な姿勢を明確に示している。また、実習生受入の一覧表を作成し、指導担当職員の意識付けを行っている。受け入れに関して、事前説明やオリエンテーションのマニュアルが整備されている。また、実習生一人ひとりのゴールを明確にした実習計画を作成し、日々実習の振り返りの時間を設け、翌日の実習に生かす等実習指導に前向きな取り組みをしている。</p>	
改善できる点／改善方法：	

II-3 安全管理

II-3-(1) 利用者の安全を確保するための取り組みが行われている。	第三者評価結果
II-3-(1)-① 緊急時（事故、感染症の発生時など）の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	Ⓐ・B・C

<p>Ⅱ－３－（１）－② 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。</p>	<p>Ⓐ・Ｂ・Ｃ</p>
<p>良い点／工夫されている点： 園児の安全対策について強い関心を持って取り組んでいる。各クラスと職員室に緊急時対応マニュアルが設置され、迅速に対応できるよう職員に周知させている。各種緊急時（感染症対策、不審者対応、虐待対応等）の対応についての担当責任者制を採用しており、職員の役割分担体制ができています。具体的な取り組み例として、全遊具の管理を各職員に割り振り、遊具全てに名札を付け、誰がどこをチェックするかを見える形で明示し、リスト化して共有している。細部まで職員の安全意識を喚起する指導がなされていることが伺えた。 日々の終礼時に全職員による安全確認（ヒヤリハット等）の徹底や月２回の室内、設備、遊具の安全点検（園庭は毎日）を行っている。遊具については、写真入りの誰でも使える分かりやすいマニュアルを整備している。子どもの安全を脅かす予兆を確認した場合は、ヒヤリハットに記載し、ただちに原因分析を行い、対策を講じている。また、園外保育の際にも、下検分や人数確認を行い、安全確認を職員に徹底させている。AEDの設置があり救命講習も受講している。事故防止のためのチェックリストは、職員の経験の多寡にかかわらず、全職員が同じように安全点検を可能とする工夫がなされている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

Ⅱ－４ 地域との交流と連携

<p>Ⅱ－４－（１） 地域との関係が適切に確保されている。</p>	<p>第三者評価結果</p>
<p>Ⅱ－４－（１）－① 利用者地域とのかかわりを大切にしている。</p>	<p>Ⓐ・Ｂ・Ｃ</p>
<p>Ⅱ－４－（１）－② 事業所が有する機能を地域に還元している。</p>	<p>A・Ⓑ・C</p>
<p>Ⅱ－４－（１）－③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。</p>	<p>A・Ⓑ・C</p>
<p>良い点／工夫されている点： 地域に３つの保育園があり、園児も広域から集まり、地域の交流も３園のバランスを考慮しての受動姿勢ではあるが、近隣住民、地域の保育園、幼稚園、小学校、高齢者施設等との交流や民生・児童委員との交流がある。また、中・高校生の職場体験の受け入れ等地域との様々な形でつながりを持っている。園庭開放や子育て相談の対応等を行なっている。また、園のしおりやホームページ等での広報に努めている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法： 地域が広いと、偏りなく連携しなければという平等性への思いが、かえって連携を困難にしているように見える。今後の連携への積極性を発揮されることを期待したい。また、子育てのノウハウの地域還元について、現存事業を拡充し、地域へのさらなる発信への一工夫を検討されたい。ボランティア受け入れについて、今後のマニュアル整備が望まれる。地域には様々な分野でのボランティア資源の潜在的可能性があると考えられる。今後の積極的な活用への取り組みに期待したい。</p>	

Ⅱ－４－（２） 関係機関との連携が確保されている。		
	Ⅱ－４－（２）－① 必要な社会資源を明確にしている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅱ－４－（２）－② 関係機関との連携が適切に行われている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>保育園、小学校、中学校との間で設置された一貫教育推進委員会、保健センター、子ども相談センター、養護訓練センター、民生委員、警察等関係機関との連携は密であり、活発な情報交換が行われている。情報は職員会等を通じて共有化されている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

Ⅱ－４－（３） 地域の福祉向上のための取り組みを行っている。		第三者評価結果
	Ⅱ－４－（３）－① 地域の福祉ニーズを把握している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅱ－４－（３）－② 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>市担当課、関係機関、地域の民生・児童委員等からの情報により地域の福祉ニーズを把握している。また、園庭開放での地域のニーズ把握に努めている。さらに望めば、園庭開放からの相談対応を事業としての子育て支援機能を持たせるような取り組みに期待する。ニーズには速やかに対応（未満児受け入れ体制の整備、早朝保育、長時間保育、障がい児保育の内容充実等）している。「安心して預けられる保育園」であることを地域に示していく姿勢が見て取れた。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ－１ 利用者本位のサービス

Ⅲ－１－（１） 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		第三者評価結果
	Ⅲ－１－（１）－① 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解を	Ⓐ・Ｂ・Ｃ

	もつための取り組みを行っている。	
	Ⅲ－１－（１）－② 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>利用者尊重の観点から、理念・基本方針に基づいた保育計画策定、保育実践を行っている。マニュアルが整備され、職員への周知徹底を図っている。プライバシー保護については高い意識を持ち、マニュアルに基づき管理が徹底されている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
	Ⅲ－１－（２） 利用者満足の向上に努めている。	
	Ⅲ－１－（２）－① 利用者満足の向上を意図した仕組みを整備している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅲ－１－（２）－② 利用者満足の向上に向けた取り組みを行っている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>各種行事や保育参加の際のアンケートの実施、年度末のアンケート実施や個別懇談、送迎時、連絡帳からの意見把握を通して保護者の意見を集約し、検討し、保育実践の向上に努めている。改善結果について情報提供を行っている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
	Ⅲ－１－（３） 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	
	Ⅲ－１－（３）－① 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅲ－１－（３）－② 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅲ－１－（３）－③ 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>年度初めに保護者に相談方法（メッセージボックス・連絡帳の活用、個別懇談会、送迎時、電話等）について告知し、文書化し明示している。苦情相談窓口について案内がなされ、ポスター掲示がある。保護者からの意見等に対する対応マニュアルを整備し、毎年度見直しを実施している。PDCAサイクルの観点に立って見直しを行い、その見直し箇所が分かるようにして、そのプロセスに透明性を高めている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

Ⅲ－２ サービスの質の確保

Ⅲ－２－（１） 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。		第三者評価結果
	Ⅲ－２－（１）－① サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅲ－２－（１）－② 評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にしている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅲ－２－（１）－③ 課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>保育内容について、毎月のカリキュラム検討会の開催、そこでの評価、課題分析を経て改善までの一連の仕組みができています。年度末に保護者アンケート実施を通しての意向や満足度を把握し、また、自己評価及び第三者で構成する外部評価委員会の評価も実施し、質の向上に取り組んでいます。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

Ⅲ－２－（２） 個々のサービスの標準的な実施方法が確立している。		第三者評価結果
	Ⅲ－２－（２）－① 個々のサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅲ－２－（２）－② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>理念・基本方針を踏まえて、個々の保育場面における実践マニュアルが「各種活動マニュアル」として整備され、それに基づいた保育内容が実施されている。「各種活動マニュアル」についての検証から見直しの仕組みがあり、週案、月案、個別指導記録について検証し、見直しを行っている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
Ⅲ－２－（３） サービス実施の記録が適切に行われている。		
	Ⅲ－２－（３）－① 利用者に関するサービスの実施状況の記録が適切に行	Ⓐ・Ｂ・Ｃ

	われている。	
Ⅲ－２－（３）－②	利用者に関する記録の管理体制が確立している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅲ－２－（３）－③	利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>指導計画に基づき、サービスが実施され、実施状況の評価、見直しが適切に行われている。子どもの発達状況、保育目標、生活状況等の諸記録が整備され、保護者に発達状況等の報告が適切に行われている。そのことにより、保護者からの意見も聴取できており、家庭との連携が保たれている。記録の管理については、市の規程によるルール化でできており、適切に行われている。個人情報保護の観点から、個人情報は厳重管理されている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

Ⅲ－３ サービスの開始・継続

Ⅲ－３－（１）	サービス提供の開始が適切に行われている。	第三者評価結果
Ⅲ－３－（１）－①	利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅲ－３－（１）－②	サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>利用希望者には園の案内を配布し、市役所においても案内配布を行っている。ホームページを毎年更新して園のタイムリーな情報公開に努めている。また、サービス内容を明記した入園案内を入園説明会において説明を加えながら配布している。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
Ⅲ－３－（２）	サービスの継続性に配慮した対応が行われている。	
Ⅲ－３－（２）－①	事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ

<p>良い点／工夫されている点： 卒園する就学児童には、子どもの成長記録及び課題を記した保育指導要録を作成し、引き渡しをする等保育の継続性に配慮した対応を行っている。</p>
<p>改善できる点／改善方法：</p>

Ⅲ－４ サービス実施計画の策定

Ⅲ－４－（１） 利用者のアセスメントが行われている。		第三者評価結果
	Ⅲ－４－（１）－① 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅲ－４－（１）－② 利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点： 統一されたアセスメント様式があり、手順に従って、定期的のアセスメント、課題分析、見直しの過程を踏んで行っており、個別の課題やニーズについては週案、月案等に記録している。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
Ⅲ－４－（２） 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。		
	Ⅲ－４－（２）－① サービス実施計画を適切に策定している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅲ－４－（２）－② 定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点： 指導計画は主任と保育統括主査が中心となり、職員全体で検討を行い作成している。週案、月案の見直しを担当職員が行い、園長、主任による評価、助言・指導を受け、改善を図る仕組みがある。全職員が参加してカリキュラム検討会議を開き、保育の質の向上に努めている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

評価細目の第三者評価結果 (児童分野 保育所)

評価対象Ⅳ 子どもの発達援助

Ⅳ-1 発達援助の基本

	第三者評価結果
Ⅳ-1-(1) 保育計画は、保育の基本方針に基づき、地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されていますか。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>保育計画は「児童憲章」「児童福祉法」「子どもの権利条約」「保育指針」に基づき保護者アンケートを実施し、意向を踏まえて作成されている。また地域の実態に合わせた低年齢児保育、延長保育の計画も作成している。誰もが投函できるよう園の外に木彫りのかわいいメッセージボックスが設置され、年間を通じて保護者の意見、感想を聞く体制が整えられている。</p>	
改善できる点／改善方法：	
Ⅳ-1-(2) 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改訂していますか。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>毎月、各年齢ごとに反省、課題点をあげ、翌月の保育計画に反映している。会議に参加できなかった職員にも内容を周知し、共有できるようにしている。障がい児、延長保育の指導計画についても同様に定期的な評価を行い、翌月の保育計画に反映している。さらに望むとすれば、3歳以上児の週案の作成についてより分かりやすい記入方法について検討されたい。</p>	
改善できる点／改善方法：	

Ⅳ-2 健康管理・食事

	第三者評価結果
Ⅳ-2-(1) 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施していますか。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>健康管理についてのマニュアルに基づいて、登園時に視診、登降園時に体温チェックを実施している。38度を目安に、体調が悪い時は保護者に連絡をし、事務室内のベッドで仮眠できるようにしている。未満児については、睡眠確認表、排便の回数をチェックして健康面に留意している。延長保育児についても、保護者と担任との間で連絡帳を作成して密な連携を図っている。</p>	
改善できる点／改善方法：	
Ⅳ-2-(2) 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させていますか。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>健康診断は年2回実施し、健診後、園長、主任が園児の発育状況や病気について園医と話し合い、職員に伝達し、保育に反映させている。異常があった場合は直接保護者に伝えている。</p>	
改善できる点／改善方法：	

IV-2-(3) 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させていますか。	(A)・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 歯科医による歯科健診を年2回実施し、結果を文書で保護者に伝達している。また歯科衛生士による歯みがき指導を年2回実施している。3歳児については、前期はうがいをを行い、後期に歯ブラシ指導へと段階を踏んで指導を行っている。保育参加で、歯科医による歯や歯みがきの大切さについて講話を実施し、その大切さを保護者に伝えている。</p>	
改善できる点/改善方法：	
IV-2-(4) 感染症への対応については、マニュアルなどがあり、発生の状況を必要に応じて保護者、全職員に連絡していますか。	(A)・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 「感染症を持ち込まない、当園が感染源とならない」というスローガンで、マニュアルに従って、発症した場合は印刷物、掲示板を通して保護者に伝え、早期発見、早期対応に努めている。また感染症の一覧表を入園当初、保護者に配布している。</p>	
改善できる点/改善方法：	
IV-2-(5) 専門医から指示があった場合、アレルギー疾患をもつ子どもの症状に応じて適切な対応を行っていますか。	(A)・B・C
<p>良い点/工夫されている点： アレルギー対策マニュアルに基づいてアレルギー疾患のある子どもに対して診断書を提出してもらい、事前に献立表を配布し、アレルギーとなる食物についてチェックしてもらい、担任と調理員と協議する等その子に合わせた対応をしている。また全職員が共通認識をもっている。</p>	
改善できる点/改善方法：	
IV-2-(6) 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしていますか。	(A)・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 調理員は職員会に参加し、直接保育士から子どもの様子、給食内容、調理方法等の意見交換している。また常に調理するだけでなく、献立見本が展示される時は現場に立って保護者に対応したり、給食試食会には、各クラスへ出向き、献立名や調理で工夫している点等保護者に話したり、その様子を見たりする等子どもたちの喫食状況を把握する取り組みをしている。</p>	
改善できる点/改善方法：	
IV-2-(7) 子どもたちが食事を楽しむことができるように工夫をしていますか。	(A)・B・C
<p>良い点/工夫されている点： テーブルはグループ名の動物にシールがはられ、ゆったりと食事ができるようなスペースをとり、音楽をかけるなど雰囲気づくりに心がけている。また異年齢児同士で食事をする機会を作っている。一人ひとりの子が残さず食べることで自信につながるように量を加減し配膳している。畑で野菜栽培をし、収穫した野菜を給食の食材として利用したり、「食育ボード」を活用し、食物や自分の身体について興味、関心をもてるようにしている。 訪問時の食事視察においても食事、おやつとも丁寧に心のこもった味付けで、食材の切り方も美しく、目でもおいしさを感じるものであった。</p>	
改善できる点/改善方法：	

IV-2-(8) 子どもの食生活について家庭と連携していますか。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 献立表と「献立について」の通信、献立メニューのレシピを記載した通信を配布し保護者に参考にしてもらっている。保育参加とともに「給食試食会」を実施し、献立内容、味付け、調理の工夫等を知らせたり、保護者から意見を聞いたりしている。保護者にも好評で「給食サンプル」も切り方、盛り付けなどとても参考になるとのことである。食育たより「すくすく」を年4回発行し、食育の大切さや子どもの喫食状況を知らせている。</p>	
改善できる点／改善方法：	

IV-3 保育環境

IV-3-(1) 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備していますか。	第三者評価結果 (A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 園庭は贅沢なスペースがあり、それぞれのクラスの子どもたちが活動している姿が見られる。遊具、砂場など常に活動できるよう安全面において留意されている。砂場は年2回抗菌剤を入れて消毒し、動物の侵入を防いだり、砂場、各保育室前はUV加工のテントやネットで日光を遮るようにしている。テラス、保育室はゆったりとしていて、子どもたちがのびのびと行動している。子どもたちのロッカーは使いやすいようになっており、トイレ、手洗い場など無駄なく設計されている。保育室の飾りも過剰にならず、落ち着いた雰囲気を感じられた。</p>	
改善できる点／改善方法：	
IV-3-(2) 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行っていますか。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 各保育室には絨毯が敷かれ、壁面は季節に合わせて、明るいかわいらしい雰囲気である。眠くなった時安心して眠ることができるよう囲いや布団なども用意されている。特に絵本コーナーは親子で絵本を何冊でも借りることができ、楽しい雰囲気作りがされている。園の裏には畑があり季節の野菜を栽培したり、プランターの花を育てている。</p>	
改善できる点／改善方法：	

IV-4 保育内容

IV-4-(1) 子ども一人ひとりの理解を深め、受容しようと努めていますか。	第三者評価結果 (A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 保育士全員が素敵な笑顔で接しており、また特に大きな声で子どもたちに指示を与えることもなく子どもたちが自主的に動き、自分の身の回りのことをしている姿に主体性、自発性が育っている様子が伺えた。常に気持ちを保育士に受け止めてもらっているのか、子どもたちが初めて見る来園者(私たち評価員)にもはきはきと返事や挨拶をしてくれる様子がとても元気良く、活発であった。</p>	
改善できる点／改善方法：	
IV-4-(2) 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応していますか。	(A)・B・C

<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>トイレが活動の場の近くにあり(保育室の中)他の子どもから見えず、プライバシーを守るスペースとなっている。一人ひとりの子どもの状態に応じて子どもの気持ちを大切にしながら自分でやろうとする気持ちを育む工夫がみられる。たとえば、年齢に合わせたトイレの使い方、着脱の仕方を具体的に指導している。また着替え類は個人用のかごを用意し、自分でも整理整頓しやすいようになっている。休息時は絵本の読み聞かせをして落ち着けるようにしているが、眠たくない子には保育士と一緒にいたり、絵本を見たりして過ごしている。</p>
<p>改善できる点／改善方法：</p>

IV-4-(3) 子どもが自発的に活動できる環境が整備されていますか。	第三者評価結果 (A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>保育室に加えてテラスが子どもたちの活動スペースとなっている。持ち物は両方に配置され、保育室内での一人ひとりのロッカーには道具箱も用意され、さっぱりと整理されている。テラスには手洗い場のタオルかけ、水筒かけ、カラー帽子入れなど準備され、子どもたちが自然に生活習慣を身につけられるような環境が整えられている。戸外においては、固定遊具もゆったりと配置され、子どもたちが思う存分遊ぶことができるスペースが確保されている。</p>	
改善できる点／改善方法：	
IV-4-(4) 身近な自然や社会と関われるような取り組みがされていますか。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>1年を通して散歩に出かけ、自然物を収集し、ごっこ遊びや制作遊び等年齢に合わせて遊びに取り入れている。また畑を借り、野菜栽培を行う中で、地域の方々に育て方の指導を受けたり、手伝ってもらっている。七夕、お正月、節分等伝統的な行事においてもその由来を知らせて、楽しさ、必要なこと等保育に取り入れている。その他幼児園の5歳児との交流をしたり、高齢者施設に出かけてお年寄りとの触れ合う機会も計画されている。</p>	
改善できる点／改善方法：	
IV-4-(5) さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮していますか。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>各保育室には教材がすぐ取り出せるように整理されている。毎年園の作品展を各クラスごと一週間展示し、その間保護者が自由に見ることができる状況になっている。また1年を通して描いた作品を綴じて作品集とし、家に持ち帰り保護者とともに楽しむことができるようにしている。より多くの絵本や紙芝居を保育に取り入れ、子どもを育てている。</p>	
改善できる点／改善方法：	
IV-4-(6) 遊びや生活を通して、人間関係が育つよう配慮していますか。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>各クラスにおいて朝の会や給食当番活動を励めている。当園は4歳児までの入所対象園であるが、3歳児のペアクラス「げんきっこタイム」の活動をすすめ、様々な触れ合いができる機会作りをしている。年度末には他のクラスへ出かけ、異年齢児と一緒に給食を食べる「お客様給食」を計画している。</p>	

改善できる点／改善方法：	
IV-4-(7) 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮していますか。	(A)・B・C
良い点／工夫されている点： 子どもの発達に応じて、相手が嫌な思いをする言動に対して、その都度考えさせたり、話したりしている。保育を通して異文化交流の重要性について学ばせている。	
改善できる点／改善方法：	
IV-4-(8) 性差への先入観による固定的な観念や役割分業などの意識を植え付けないよう配慮していますか。	(A)・B・C
良い点／工夫されている点： 保育の中で制作活動等、その子の好きな色、形が選べるよう配慮している。ままごと遊びや飼育栽培、クッキング、掃除等男女の別なく、固定的な対応なく全員で行っている。	
改善できる点／改善方法：	

IV-4-(9) 乳児保育のための環境を整備するなど、保育の内容や方法に配慮していますか。	第三者評価結果
	(A)・B・C
良い点／工夫されている点： 0歳児用保育室において8カ月児から受け入れている。授乳や睡眠等、静かな環境で行えるようにしている。登降園時の体温チェック、睡眠確認表、排便を確認し、健康管理を行っている。	
改善できる点／改善方法：	
IV-4-(10) 長時間にわたる保育ための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮していますか。	(A)・B・C
良い点／工夫されている点： 未満児と以上児を別々に保育するなど長時間保育にゆとりを持ち、安定して過ごせる環境が用意されている。活動内容は、長時間専用のおもちゃが準備される等、保育の内容に変化を持たせる工夫が見られた。	
改善できる点／改善方法：	
IV-4-(11) 障害児保育ための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮していますか。	(A)・B・C
良い点／工夫されている点： 障がい児に加配保育士が担当し、その子の生活リズムに合わせて保育を行っている。また担当者は障がい児に対する研修会に積極的に参加している。主任は特別支援コーディネーターとして個別支援計画に携わっている。養護訓練センターや保健センターの指導を受けたり、県立希望が丘学園の療育スタッフから療育に関する技術的支援(地域療育システム支援事業)を受けている。また、音楽療法も月1回取り入れられている。	
改善できる点／改善方法：	

評価対象V 子育て支援

V-1 入所児童の保護者の育児支援

	第三者評価結果
V-1-(1) 一人ひとりの保護者と、日常的な情報交換に加え、個別面談などを行っていますか。	(A)・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 送迎の際に口頭や連絡帳で園での出来事や様子等を知らせている。必要に応じて掲示板に1日の出来事やお願い事、写真を掲示して、情報を伝えている。また個別懇談会を実施し、普段ゆっくり話すことができない保護者に対しても情報交換の機会を設けている。なお付け加えるならば、クラスだより等配布物について、園からの情報の発信だけではなく、日常の子どもたちの姿と声を、保護者に見える形、表現で発信する工夫を期待するところである。</p>	
改善できる点/改善方法：	
V-1-(2) 家庭の状況や保護者との情報交換の内容を必要に応じて記録していますか。	(A)・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 日常的な情報交換について、未満児は毎日連絡帳で情報交換を行い、3,4歳児は必要に応じて、連絡ノートや口頭で行っている。</p>	
改善できる点/改善方法：	
V-1-(3) 子どもの発達や育児などについて懇談会などの話し合いの場に加えて保護者と共通理解を得るための機会を設けていますか。	(A)・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 園の行事への参加、給食試食会、個人懇談などで具体的な子どもの姿を通して子どもの発達や育児について保護者との共通理解を深める機会を設けている</p>	
改善できる点/改善方法：	
V-1-(4) 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっていますか。	(A)・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 登園時の視診、月1回の身体計測、プールあそびの着替え時にチェックを行っている。マニュアルに沿って疑わしい時は園長に報告する体制ができています。</p>	
改善できる点/改善方法：	
V-1-(5) 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っていますか。	(A)・B・C
<p>良い点/工夫されている点： マニュアルに従って、園長から子育て支援室、保健センターへとネットワークが確立されている。通告にあたっての連絡先を明示している。</p>	
改善できる点/改善方法：	
V-1-(6) 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている。	A・B・C

良い点／工夫されている点： 非該当項目である。
改善できる点／改善方法：

評価対象VI 運営管理

VI-1 安全・衛生管理

	第三者評価結果
VI-1-(1) 事故や災害に適切に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されていますか。	(A)・B・C
良い点／工夫されている点： 避難訓練や防犯訓練のマニュアル・年間計画を作成し、全職員に周知されている。	
改善できる点／改善方法：	
VI-1-(2) 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っていますか。	(A)・B・C
良い点／工夫されている点： 室内、園庭、園周辺のヒヤリ・ハット図が各クラスに掲示され、事故防止の意識を高めている。毎月2回安全点検と園児降園後の園庭見回りを毎日実施して事故防止のためのチェックをしている。終礼時、安全管理として「ヒヤリ・ハット」した事例を職員同士で挙げ、記録して掲示し、職員全員で周知している。	
改善できる点／改善方法：	

VI-1-(3) 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されていますか。	(A)・B・C
良い点／工夫されている点： 食中毒発生時対応マニュアルがあり、全職員が周知している。	
改善できる点／改善方法：	

	第三者評価結果
VI-1-(4) 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されていますか。	(A)・B・C
良い点／工夫されている点： 市で統一された衛生管理マニュアルがあり、チェックリストによって毎日記録を取っている。調理場は清潔で虫が入らないように網戸・ガラス戸と二重になっている。調理員も研修で衛生管理について学んで報告している。	
改善できる点／改善方法：	

VI-1-(5) 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されていますか。	(A)・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 不審者の侵入時対応マニュアルがあり、全職員が周知し、年間計画での訓練を毎月1回実施している。</p>	
<p>改善できる点/改善方法：</p>	

評価対象Ⅷ 個別サービス着眼点（岐阜県独自項目）

Ⅶ-1 安全管理面でのサービス

	第三者評価結果
Ⅶ-1-(1) 外部から侵入に対する対応策がとられていますか。	(A)・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 防犯カメラが設置され、常にモニタリングが可能な状況にあり、また施錠してある玄関も常に状況を確認できている。不審者情報が適時入手されるので、職員に知らせ、掲示板で保護者にも通知し注意を喚起させている。</p>	
<p>改善できる点/改善方法：</p>	

Ⅶ-2 保護者とのコミュニケーション

	第三者評価結果
Ⅶ-2-(1) 保護者の保育参加を促すような工夫をしていますか。	(A)・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 年度初めに園の行事計画を文書で配布し、その都度事前に再度案内をしている。延長保育利用児の多い当園では、保育参加日が多い保護者の集まる機会となっているので、親子でふれあいを楽しめる行事等を計画し参加してもらっている。保育参加できなかった保護者への通達も行き届いている。参観は希望を受け入れる体制がある。</p>	
<p>改善できる点/改善方法：</p>	
Ⅶ-3-(2) 保護者会組織等への活動の援助や意見交換を行っていますか。	(A)・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 園の行事には保護者会が理解あるサポーターとして協力している。クリスマス会のサンタクロース役や、プレゼントを提供してもらっている。職員だけでは困難な草取り、交通指導、行事の駐車場誘導等も積極的に協力している。保護者会の活動には常に職員が参加して活動がスムーズに行われるよう支援している。</p>	
<p>改善できる点/改善方法：</p>	

Ⅶ-4 保育所・幼稚園・小学校との連携

	第三者評価結果
Ⅶ-4-(1) 保育所・幼稚園・小学校との連携した取り組みを行っていますか。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>地域社会との交流は活発である。小学生や中学生が授業の一環として来園したり、プレイルームの季節ごとの壁面飾りは高校生が作成している等、他園では見られないような交流活動がある。幼稚園（5歳児）の里帰りや当園からの訪問も含めて幼稚園、小学校、中学校、高校と密接な関わりを持ち、様々な刺激を得て子どもたちが成長している様子がわかる。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	